

小・中学生アンケート調査結果

令和 8 年 1 月 30 日

1. アンケート調査の実施概要

1-1 調査目的

高松市の山や、海、川、ため池、里地などの自然について、小・中学校生が日ごろ感じていることの聞き取りを実施し、高松市生物多様性地域戦略へ反映する。

1-2 調査内容

- ・生物多様性への意識
- ・高松市の自然環境について など

1-3 調査対象者

高松市環境総務課が選定した高松市内の小学校 5～6 年生（294 名）、中学 1～3 年生（240 名）の学生

1-4 調査期間

令和 7 年 10 月 21 日（火）～令和 7 年 12 月 24 日（水）

1-5 調査方法

アンケートの調査依頼を学校へ行い、紙面又はインターネットで回収

1-6 調査項目

アンケート項目	設問の内容
問 1～問 2 属性	学校名、学年
問 3	生物多様性の認知度
問 4	自然や環境活動への興味・関心
問 5～問 8	高松市や身の回りの自然について
問 9	日頃の環境保全への意識
問 10	自由記述

1-7 回収結果

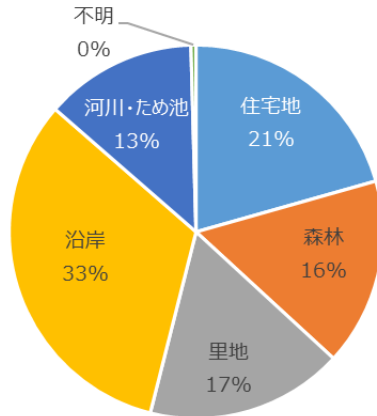
- ・回収数 小学生：228 件、中学生：199 件、計 427 件
 - ・回収率 小学生：77.6%、中学生：82.9%、全体 78.0%
- ※判別できなかった回答を除く

2. 調査の結果

2-1 属性

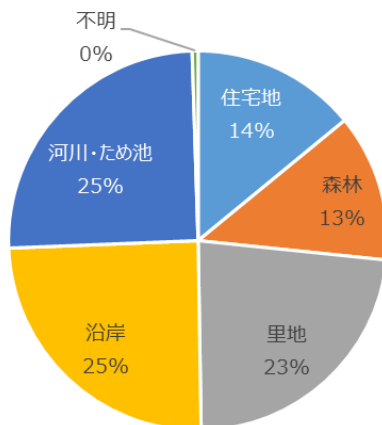
問1 所属学校のエリア

<小学生>



エリア	回答件数
住宅地	47人
森林	37人
里地	39人
沿岸	74人
河川・ため池	30人
不明（無回答）	1人

<中学生>



エリア	回答件数
住宅地	28人
森林	25人
里地	46人
沿岸	49人
河川・ため池	50人
不明（無回答）	1人

※小・中学生アンケートのエリア分けは「住宅地」、「森林」、「里地」、「沿岸」、「河川・ため池」で実施。（エリアは高松市環境総務課で設定）

なお、「高松市生物多様性地域戦略策定支援業務」で設定したゾーニング「都市」、「山地・森林」、「里山」、「海域・沿岸」、「河川・ため池」とは一致しない。

問2 学年

<小学生>

学年	人数
小学5年生	205人
小学6年生	23人
合計	228人

<中学生>

学年	人数
中学1年生	8人
中学2年生	183人
中学3年生	8人
合計	199人

2-2 生物多様性に関する意識調査結果

問3 生物多様性という言葉を知っていますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

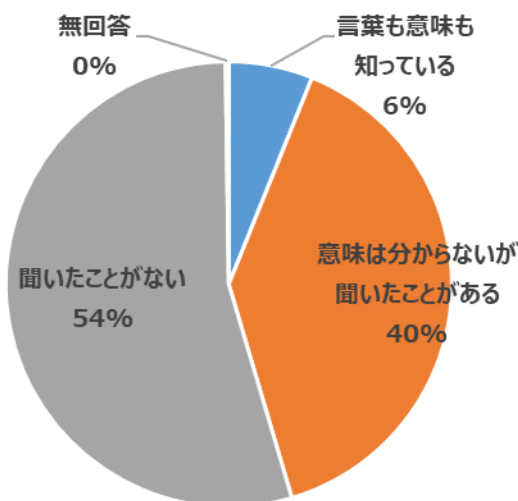
「言葉も意味も知っている」と生物多様性に対する認知度は全体の6%でした。また、「意味は分からないが聞いたことがある」との回答は40%で、言葉の認知度は46%でした。

小学校低学年より、生活科で身近な自然や生き物についての学習が行われていますが、「生物多様性」を単元として学習するのは、中学3年生とされています。

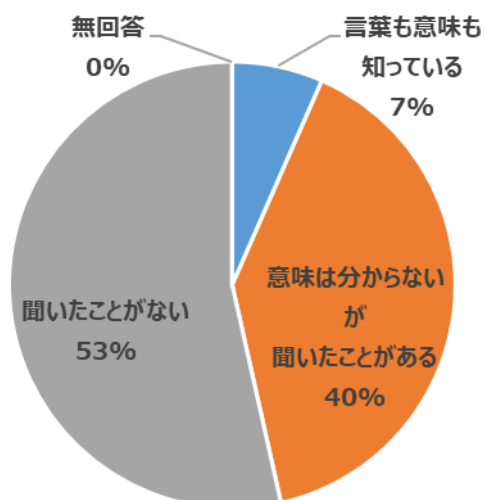
参考) 学校等における生物多様性に関する取組 (文部科学省、平成28年8月)

中学校学習指導要領 (平成29年告示) 解説 (文部科学省、平成29年7月)

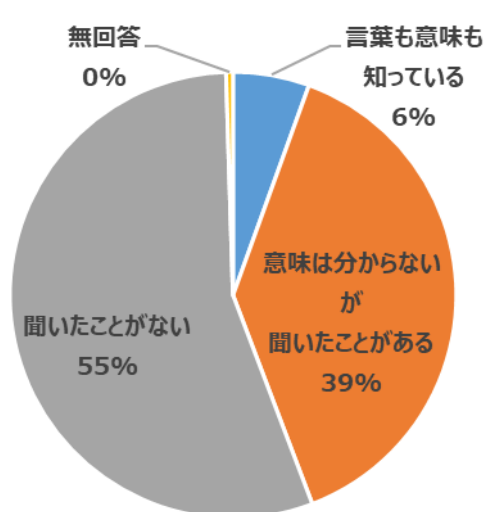
<全体>



<小学生>



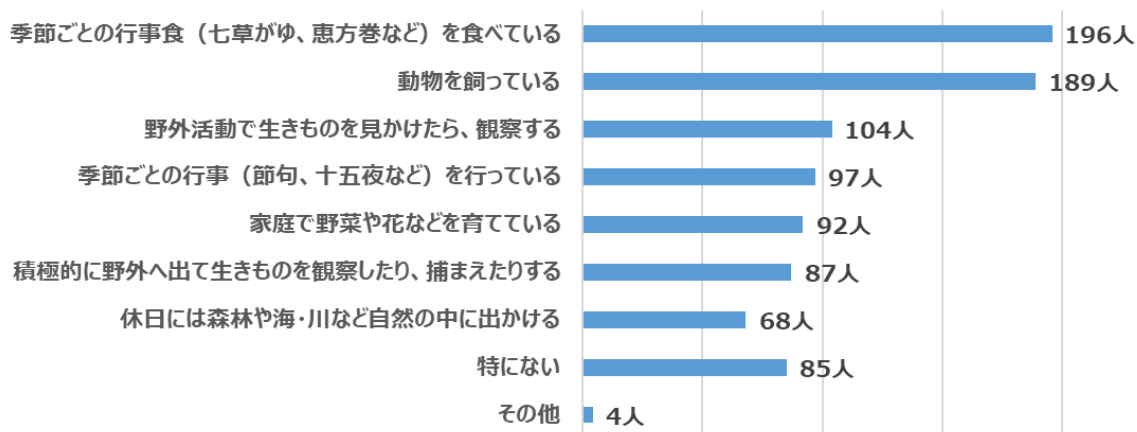
<中学生>



2-3 自然や環境活動への興味・関心

問 4 自然や生きものと触れ合ったり、季節を感じたりすることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

「季節ごとの行事食を取り入れる」との回答が 196 人と最も多く、次いで「動物を飼っている」が 189 人でした。その他の回答として、虫の観察・飼育や登下校中の観察などがあげられました。



(その他) ※一部編集

虫などがいると、危険ではないと分かったら観察して触っている、親に許可をもらったら、飼っている
遊んでいる時や、登下校中に見つけたら観察する
公園で植物を観察する
共存している

2-4 高松市や身の回りの自然について

問 5 高松市にはさまざまな動植物が生息・生育しています。高松市内において次の身近な生きものについて当てはまるものそれぞれ一つに○をつけてください。

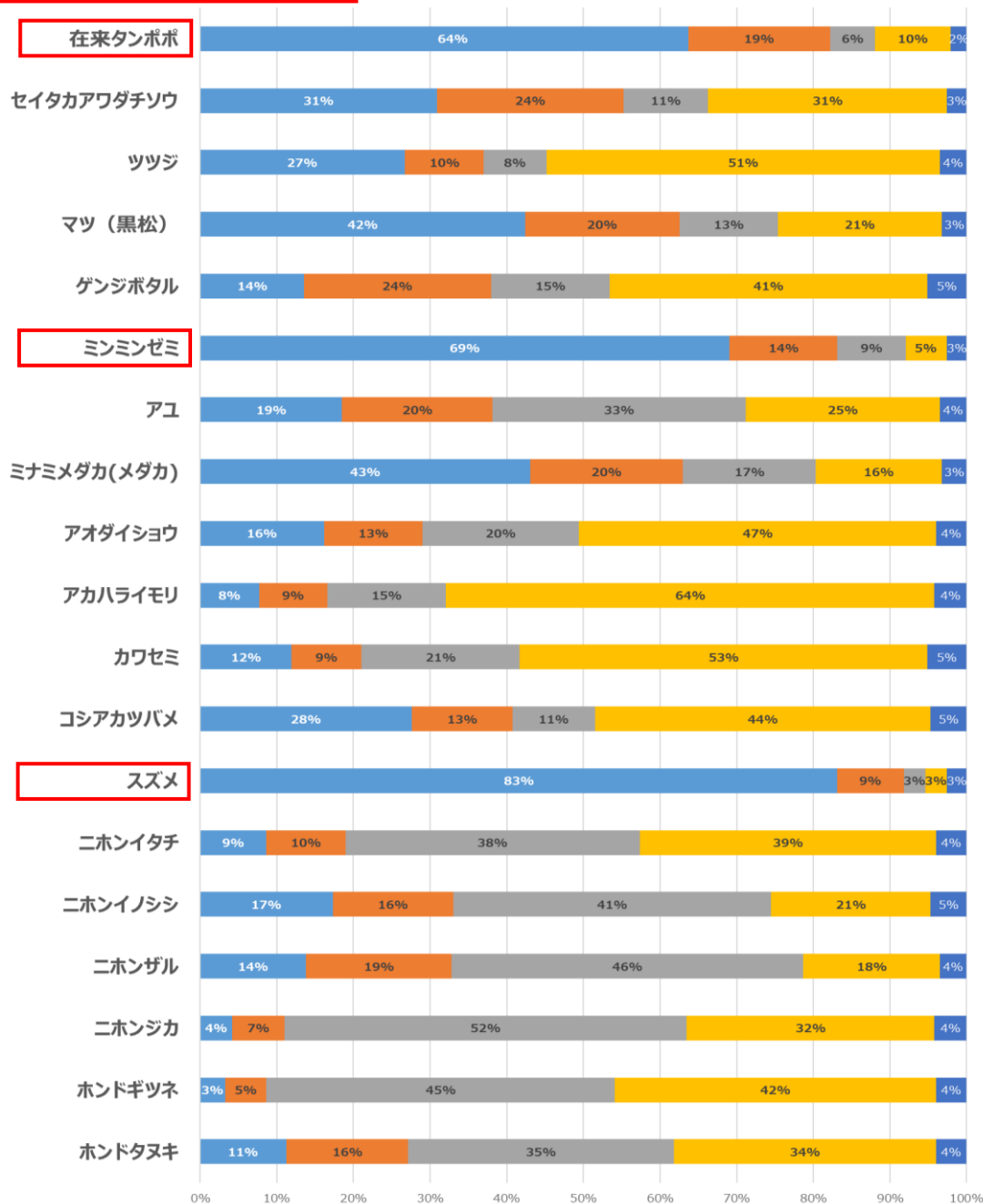
高松市の花であるツツジは27%、市の木あるマツ（黒松）は42%が、「この1年間に直接見たり鳴き声を聞いたりしたことがある」という回答でした。

また、在来タンポポ、ミンミンゼミ、スズメが「この1年間に直接見たり鳴き声を聞いたりしたことがある」に対して50%以上の回答がありました。

「この1年以内には高松市内の自然の中で見てないが、過去に見たことがある」の回答が「この1年間に直接見たり鳴き声を聞いたりしたことがある」よりも多いものは、ゲンジボタル、アユ、アカハライモリ、イホンイタチ、ニホンザル、ニホンジカ、ホンドギツネ、ホンドギツネホンドタヌキと複数種あり、自然環境の減少の可能性もうかがえました。

「この1年間に直接見たり鳴き声を聞いたりしたことがある」との回答が50%を超えるもの

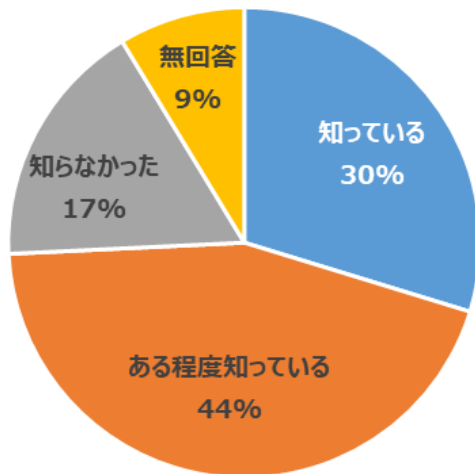
- この1年間に高松市内の自然の中で直接見たり、鳴き声を聞いたりしたことがある
- この1年以内には高松市内の自然の中で見ていないが、過去に見たことがある
- 高松市内の自然の中で見たことはないが、姿を思い浮かべることができる
- 知らない
- 無回答



問 6 自然の減少などによって住む場所がなくなったり、観賞用などとしてたくさん採取されたり、他の生きものに食べられたりするなどして、絶滅の危機にある生きものが増えています。こうした問題を知っていますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

「知っている」、「ある程度知っている」との回答が、それぞれ 30%、44%であり、合計 74%の学生が絶滅の危機にある生きものが増えていると知っているとの回答でした。

小学生、中学生別に結果を比較しても、どちらも同様の傾向が見られました。



<全体>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
127人	190人	73人	37人	427人
30%	44%	17%	9%	100%

<小学生>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
69人	100人	39人	20人	228人
30%	44%	17%	9%	100%

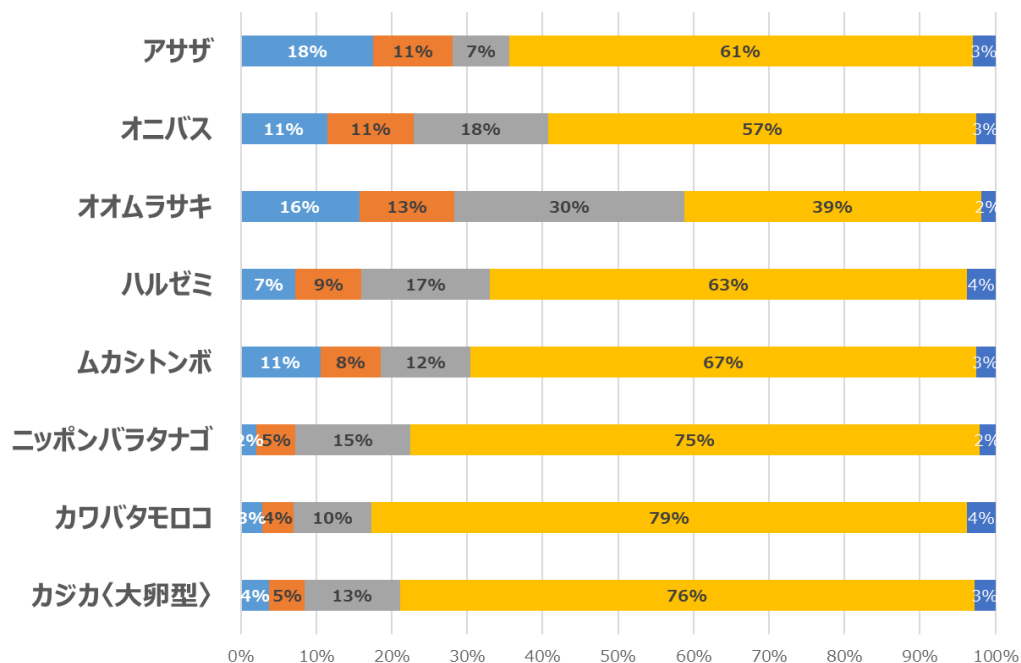
<中学生>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
58人	90人	34人	17人	199人
29%	45%	17%	9%	100%

問 6-1 高松市にはさまざまな絶滅の危機にある種が生息・生育しています。次の生きものについて当てはまる番号それぞれ一つに○をつけてください。

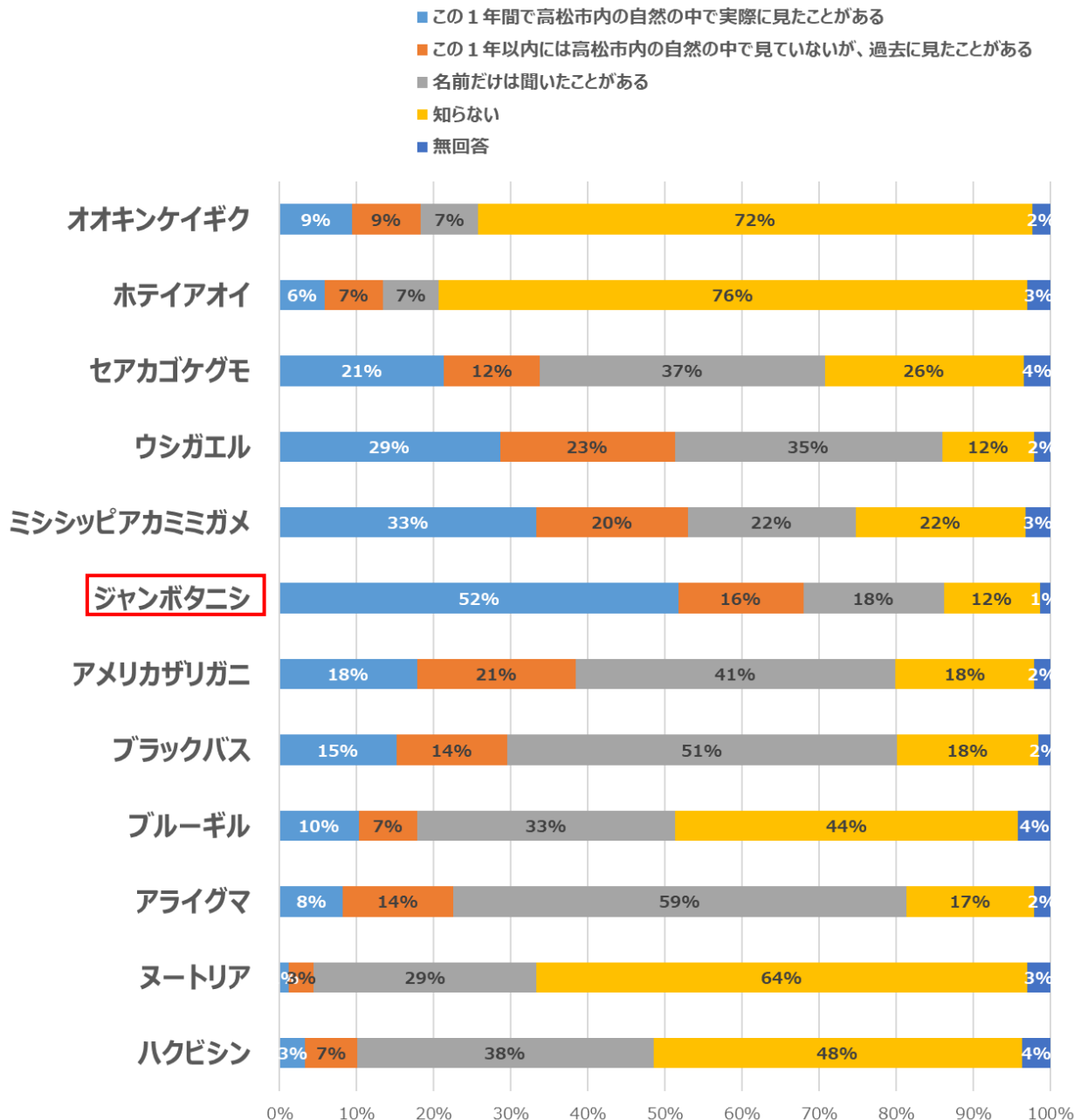
いずれの種においても「知らない」との回答が多く見られました。

- この1年間に高松市内の自然の中で直接見たり、鳴き声を聞いたりしたことがある
- この1年以内には高松市内の自然の中で見ていないが、過去に見たことがある
- 名前だけは聞いたことがある
- 知らない
- 無回答



問 7 高松市には人間の都合によってもともと生息していた場所から持ってこられた生きものが生息・生育しています。次の生きものについて当てはまるものそれぞれ一つに○をつけてください。

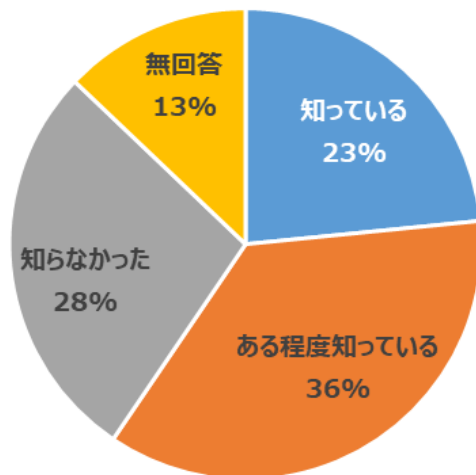
「この1年間で高松市内の自然の中で実際に見たことがある」の回答が50%を超えた外来種はジャンボタニシだけでしたが、ミシシippアカミミガメやウシガエルも33%、29%と回答率が高い結果となりました。また、「この1年以内には高松市内の自然の中で見ていないが、過去に見たことがある」の回答が「この1年間で高松市内の自然の中で実際に見たことがある」を上回った種は、ホテイアオイ、アメリカザリガニ、アライグマ、ヌートリア、ハクビシンがあげられ、種類によっては規制強化や防除計画の成功の可能性もうかがえます。



問 7-1 問 7 で聞いた人間の都合によってもともと生息していた場所から持ってこられた生きもの（外来生物といいます）が引き起こす問題を知っていますか。当てはまるもの一つに○をつけてください。

「知っている」、「ある程度知っている」との回答が、それぞれ 23%、36%であり、合計 59%の学生が外来生物の引き起こす問題と知っているとの回答でした。

小学生に比べて、中学生の方が「知っている」「ある程度知っている」と回答した割合が数パーセントずつ多い結果となりました。



<全体>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
100人	154人	118人	55人	427人
23%	36%	28%	13%	100%

<小学生>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
47人	80人	73人	28人	228人
21%	35%	32%	12%	100%

<中学生>

知っている	ある程度知っている	知らなかった	無回答	合計
53人	74人	45人	27人	199人
27%	37%	23%	14%	100%

問 8 高松市の中で好きな自然はありますか。あれば好きな場所などを教えてください。（複数回答可）

214 人の学生が好きな自然が「ある」と回答しました。

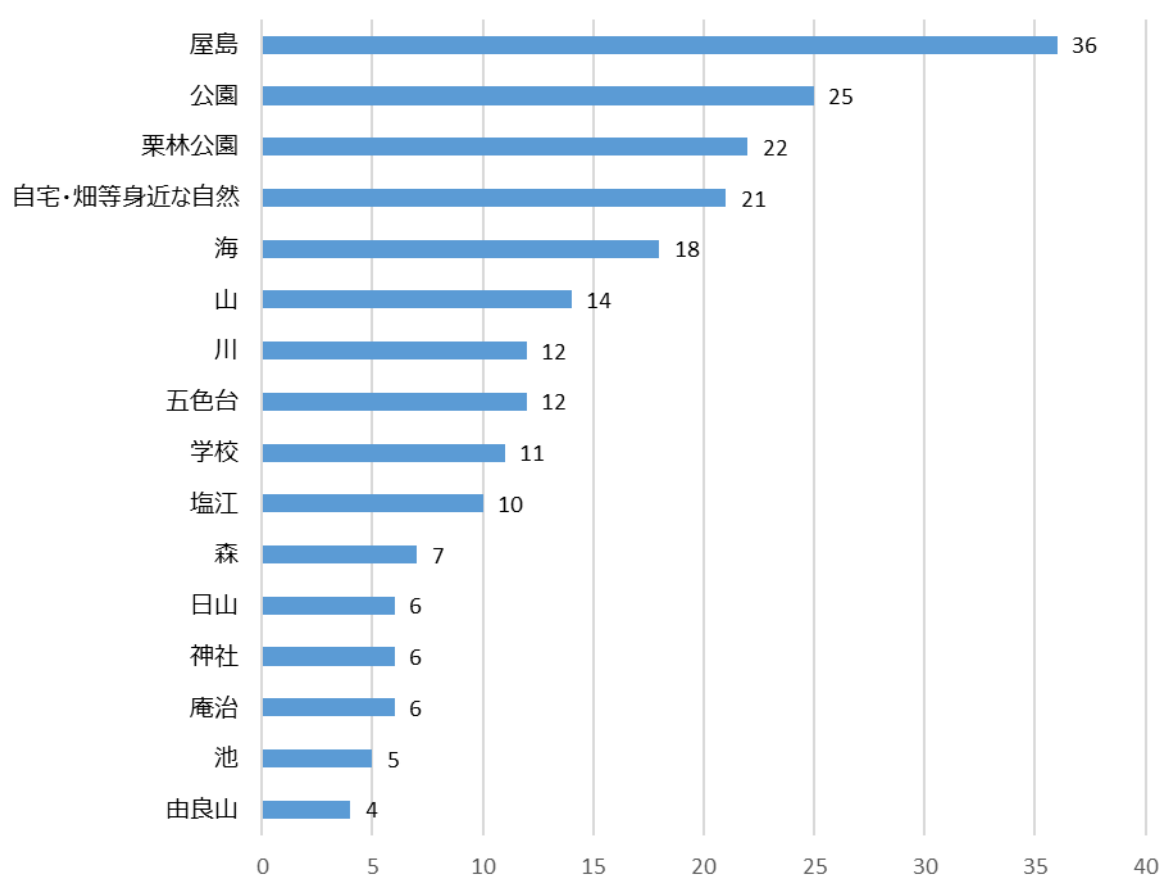
好きな場所がある	ない 無回答 わからない	合計
214人	213人	427人

【好きな場所】

好きな場所として「屋島」に言及した回答は全部で 36 件と最多でした。「屋島」が好きな理由として校外学習で訪れた際の思い出等の記載がありました。

次いで「公園」が 25 件で、公洲森林公園（4 件）や、しろばな公園（5 件）など大きな公園があげられる一方近所の児童公園等身近な公園をあげる回答もありました。「栗林公園」との回答も 22 件と多く、好きな理由として、自然の豊かさや等があげられました。（※「栗林公園」は都市公園法上、歴史公園に分類される為その他の公園と別に回答を抽出）

その他、五色台（12 件）、塩江（10 件）、庵治（6 件）等、特定の地名の回答もありました。また、特定の場所ではなく身近な自宅や畑、山、川等の回答もありました。

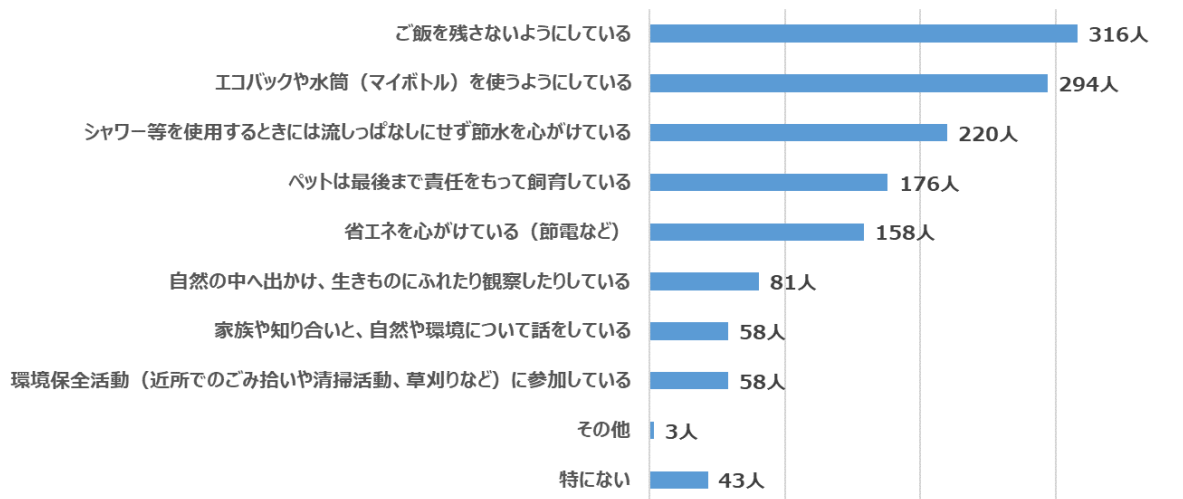


※市外の回答（まんのう公園（5 件）、父母ヶ浜（2 件）、小豆島（1 件））は集計より除外

※生物多様性に関係のない回答（商店街、ぐんたに、ゲームセンター各 1 件）は集計より除外

問 9 自然・環境を守るために日常から心がけていることはありますか？当てはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

「ご飯を残さないようにしている」との回答が 316 件と最も多く、次いで「エコバックや水筒（マイボトル）を使うようにしている」が 294 件、「シャワー等を使用するときには流しっぱなしにせず節水を心がけている」が 220 件でした。その他の回答として、怪我した生き物の世話、いらないものを買わない・ゴミをポイ捨てしない等があげられました。



（その他）※一部編集

怪我した生き物の世話をしている

いらないものを買わない・ゴミをポイ捨てしない

ポイ捨てしない

問 10 高松市の自然や生きものに関してどのようなことでもかまいませんので自由にご記入ください。

(自由記述) (一部抜粋、編集、ポジティブな意見色付け)

自然や生きものに関して、また、その他さまざまな記述がみられました。

【自然環境】

- ・海が綺麗。生き物が多い。
- ・高松市は自然に囲まれていていいところだと思う。
- ・高松市内は自然豊かで緑が多く、落ち着く印象がある。海や五色台など様々な自然が身近にあるので嬉しい。
- ・高松市は比較的自然が多い地域だと思う。特に私が通っている下笠居中学校からの景色は海も山も見ることができ。五色台には動物が多く生息していると聞く。
- ・高松市には綺麗な自然がたくさんあり素晴らしいと思う。
- ・自然豊かで生物、動物が多く住んでいる。
- ・自然と町の割合が丁度いいと思う。
- ・高松市は栗林公園などの自然と関われる機会があるからいいと思う。
- ・高松には山も海もあり、アサギマダラなどのめずらしい生き物もたくさんいる。これからも大切にしたい。
- ・高松市は、街路樹も池もたくさんあっていい所だと思う。
- ・高松市は東京や大阪などと比べると田舎けど東京や大阪にはあまりない自然を感じることができる。生き物も自由に飛び回ったりしている。
- ・山がとても多い、緑が多い、虫もいろいろな鳴き声がある。
- ・いつまで経っても自然がきれいなままですごい。
- ・生き物が少なくなっていると思う。
- ・最近あまり生き物の様子が見られない。
- ・昔自然があった場所が今はなくなっている。
- ・山で昔よりあまり動物が見られなくなった。
- ・虫が多い。

【生きもの】

- ・結構生息しているのは分かる。
- ・いい生き物ばかり。
- ・高松市には野生動物が少ないから安心できる。
- ・そこらへんに虫や動物がいる。犬を飼っている人が多い。
- ・庵治には潮風が当たるところでも松が生えている。そのほとんどが赤松に見える。
- ・タヌキやウサギを見かける。
- ・夏に公園でバッタが飛んでいる。
- ・スズメを見た。
- ・近くの川でたまにカワセミを見た。塩江には様々な自然や生き物がいるから好き。
- ・道路にカタツムリなどがいる。
- ・木に鳥がいっぱいいる。
- ・ミーアキャットがいた。
- ・夕方になると、結構鳥が飛んでいる。

- ・木にクワガタなどがとまっている。猿が家の近くにいた。猪をたまに夜見かける。
- ・高松にあった生き物も少なくなったり、いなくなったりしている生き物が多いと思う。
- ・下笠居にはイノシシが出ることを聞いたことがある。
- ・道路でなくなっている狸が多くてかわいそう。
- ・夏はセミが多いうるさい。
- ・野良猫が多い。
- ・一部の町で猫が多すぎる。可愛いからいいけど車に引かれないか心配になる。
- ・大きなハチが夏、マンションの中や近くに何匹か住んでいて困った。
- ・イノシシが多くて稲やさつまいもなどの野菜が食べられる。

【外来種】

- ・外来生物が増えていると思う。
- ・外来種が増えないでほしい。もっと在来種が増えてほしい。環境破壊をしないでほしい。
- ・危ない虫がいて困る。
- ・高松市内だけでもジャンボタニシを多く見かけるのでどのようにしたらよいか。またそれによってどのような害があるのか。ブ
ラックバスをよく釣っているがそこから良い対処の方法はあるのだろうか。
- ・季節になると、春日川に外来種のオオキンケイギクが土手の横が見えなくなるほど生えている。綺麗なので、外来種と
知らずに家に持って帰り、庭に生やすなどして増えていかないか心配。
- ・外来生物（タヌキ、イタチ）が、東谷の山近くの道路で倒れているのを見たことがある。
- ・ジャンボタニシは、毒をもっていて、触ると発熱や嘔吐という症状がでるのを知っている。
- ・みろく自然公園は子供が沢山遊びに来るが、セアカゴケグモみたいな蜘蛛が沢山いて危ないと思う。
- ・セアカゴケグモが頻繁にみられるなと思う。
- ・セアカゴケグモが学校に出ないようにしてください。
- ・ジャンボタニシは危なくて、かまれたらいろんなものが食べられなくなるので、出ないようにしてください。

【景観・ごみ】

- ・地球温暖化が進んでいて人がごみとかを捨てているからそれを見ると最悪だなと思う。
- ・海にごみが落ちているので捨てるのをやめてほしい。

【意見・要望】

施設

- ・広い公園が欲しい。
- ・三谷に公園を造ってほしい。
- ・多肥上町にみんなが遊べるような広い公園をつくってほしい。
- ・高松市に、自然がいっぱいの公園がほしい。
- ・魚をいっぱいとれる池があったらいい。

整備・開発

- ・自然をもっと増やしてほしい。

害獣等

- ・イノシシが畑の土を掘り返されるので怖く、どうにかしてほしい。他にも、鎌野地区の海にクラゲが出るので、どうにかしてほしい。
- ・危険な虫や動物を無くしてください。
- ・蚊がなるべく出ないようにしてください。
- ・ハチをミツバチ以外消してください。

【その他】

意欲・取組み

- ・自然豊かな高松市をこれからも守っていききたい。
- ・高松市は自然が豊かだと感じている。この自然を今後壊さないようにしていきたい。
- ・私は、自然が大好きなので、環境にいいことをしたい。
- ・高松市にも絶滅危惧種の生き物が多いので自分にできることをして守りたい。
- ・綺麗な生き物が多く楽しい自然にしていきたいので、これから自分のできること（ゴミ拾いなど）をやっていききたいと思う。
- ・ルールを守って釣りをしたい。
- ・生態系を大切にしたい。
- ・山を大切にしたい。
- ・自然をもっと大切にしたい。命を大切にしたい。
- ・どんな生き物でも大切にしたい。むやみに捕まえたり生き物をいじめたりしている人がいたら注意したい。高松市の自然を守っていききたい。
- ・皆で在来種の生き物を見守って、大切にしていけたらいいな、と思っている。ウシガエルや、アメリカザリガニが悪いわけじゃないということを皆に知ってほしい。
- ・自然と共存していくためには人間の協力が必要不可欠だと思うので周りの自然、生き物をみんなで大切にしていきたい。
- ・人間の都合で連れてこられたり、絶滅の危機にある動物を救うことはまだできないけど、だからこそ今の自然をできるだけ守っていききたい。
- ・ペットを飼うとき責任をもって、最後まで飼いたい。
- ・高松市の絶滅した生き物を知りたい。
- ・あまり高松市の生物について知らなかったので、知れる機会があれば積極的に参加したいと思った。
- ・もっと高松にいる動物について知りたい。
- ・もっと虫や花を見てみたい。
- ・いろいろな自然や生き物とたくさん触れ合いたい。

動物

- ・動物が殺処分されることに問題を感じている。
- ・家の前に頻繁に糞を落としてくる鳥がいる。
- ・イタチにゴミを荒らされる。
- ・野良猫がかわいそうだから自分の都合で餌をあげたり、あげなかったりするのはやめてほしい。猫が餓死するかもしれないし、猫が子供を産んでしまうから。かわいそうだと思うなら引き取ってほしい。

気づき

- ・高松市の中だけでも知らない生き物や植物があった。
- ・高松にもいろんな生き物がいることが分かった。探しに行こうと思う。
- ・外来種はよく見るし耳にするが、高松市に今回のアンケートであったような在来種が多くいるとは思わなかった。
- ・外来種など知らない知識があった。
- ・生き物の絶滅危惧種の中に聞いたことが無い虫や、生き物がいた。
- ・オオムラサキを見たのは1年以内だけどその1回だけしか見ておらず、絶滅の危機があるんだ、と知った。

その他

- ・自然は大切だ。
- ・知らないものが多い。
- ・公園が少ない。
- ・高松市の上側でホタルを見たい。
- ・庵治小学校の校庭は、自然の生き物がたくさんいる。
- ・面白くて見入ると楽しい。
- ・すべての虫を食べてみたい。

3. 小・中生意識調査から見える生物多様性の課題（地域戦略へ反映）

1) 「生物多様性」の認知度の向上

授業で習っていないということもありますが、言葉も意味も知っているという「生物多様性」の認知度について、市民アンケートの 25%に比べ 6%と 19 ポイント低い結果となりました。生活科や理科の授業の他、校外学習や休日のイベント等で生物多様性に触れる機会を設けると認知度の向上に繋がると考えられます。

2) 学習機会の提供

希少種について学ぶ場を提供することで、高松市特有の希少種についての理解が深まり、問 6-1 のようなアンケートの回答内容の向上に繋がると考えられます。

また、それに加え、外来種や害獣について正しい知識を提供することで生物多様性の保全に繋がる可能性があります。

3) 環境の整備

問 8 の好きな自然について、屋島や栗林公園など有名な場所が挙げられる一方、近所の公園や自宅、畑など、身近な公園の回答も多くありました。身近な自然環境を整えることで、将来を担う世代にとって、「生物多様性の保全」をより自分ごととしてとらえられるかもしれません。

また、外来種や獣害等の意見も多数あがっているため、身近な生活環境の有害鳥獣の適性管理を図る必要があります。